

科 目 名			保育実習指導Ⅲ		担当教員	佐藤 隆司・加藤 次郎																																											
					担当形態	複数																																											
テキスト			特になし。		単 位 数 授業形態	1 単位	演習	開講時期	前期																																								
講義概要 ■到達目標 社会福祉施設において、利用者の状況を知り、適切な援助を行うための準備をし、実習後に実習体験のまとめを行うことで、自身の体験を省察し反省的な実践を行う素地ができる。 ＜利用者理解＞ ・社会福祉施設において、利用者がどのような生活をし、どのように人と関わって生きているのかを理解し考察する ＜職務の理解＞ ・職員の援助と、その基となる援助観や意図を理解し、利用者理解と共に考察する。 ＜施設の理解＞ ・地域における施設の使命を理解し、利用者の地域での生活を知る。 ＜自己課題＞ ・これまでの実習等から自身が設定したテーマや実習前後で新たに見えてきたテーマについて、自分なりに考察し、表明する。 ■授業の概要 本授業は、保育実習Ⅲのための事前事後指導であり、事前に受ける指導とともに、実習後の指導までが含まれる。1年次からの全ての実習の経験や学びを生かし、さらに深め、保育士としての心構えや態度の習得はもちろんのこと利用者理解と援助との関係の理解、専門職として自律する自己の理解、さらには、将来どのような職業に就くのかなど、就業を考える機会にもなるような学びの獲得を期待する。 実習後の振り返りでは、実習の記録や体験を基に仲間同士で振り返り、自身が実習を通して何を見て何を感じ、目の前の利用者とどのように関わり、なぜそのように考えたかなど、実習のまとめと「これまでの実習で自分は何を学び、何を獲得したのか」などの学びの総括を実施する。 ■授業計画 <table><tr><td>第1回</td><td>オリエンテーション</td><td>これまでの学びの確認</td><td>第9回</td><td>記録を深め実践につなげる</td></tr><tr><td>第2回</td><td>実習の目的・心構え</td><td></td><td>第10回</td><td>課題の整理と目標の設定</td></tr><tr><td>第3回</td><td>自己課題の発見と目標の設定</td><td></td><td>第11回</td><td>実習前のまとめ</td></tr><tr><td>第4回</td><td>施設理解・利用者・制度等の理解（試験）</td><td></td><td>第12回</td><td>実習で何を学んだか①（事後指導）</td></tr><tr><td>第5回</td><td>実習施設・地域の理解</td><td></td><td>第13回</td><td>実習で何を学んだか②（事後指導）</td></tr><tr><td>第6回</td><td>ノートの書式と記録の方法</td><td></td><td>第14回</td><td>実習で何を学んだか③（事後指導）</td></tr><tr><td>第7回</td><td>経過記録とエピソード記録①</td><td></td><td>第15回</td><td>実習のまとめ</td></tr><tr><td>第8回</td><td>経過記録とエピソード記録②</td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ■準備学習 授業時間外に各自以下の課題に取り組むこと。 ・施設の理解、制度、障がいについての学習 ・各自の準備課題の実施、記入 ・これまでの実習記録の見直し、修正 ■評価方法 ・小テスト・提出物による評価 — 20％ ・事後学習の際のふり返りのレポート — 40％ ・実習記録 — 40％										第1回	オリエンテーション	これまでの学びの確認	第9回	記録を深め実践につなげる	第2回	実習の目的・心構え		第10回	課題の整理と目標の設定	第3回	自己課題の発見と目標の設定		第11回	実習前のまとめ	第4回	施設理解・利用者・制度等の理解（試験）		第12回	実習で何を学んだか①（事後指導）	第5回	実習施設・地域の理解		第13回	実習で何を学んだか②（事後指導）	第6回	ノートの書式と記録の方法		第14回	実習で何を学んだか③（事後指導）	第7回	経過記録とエピソード記録①		第15回	実習のまとめ	第8回	経過記録とエピソード記録②			
第1回	オリエンテーション	これまでの学びの確認	第9回	記録を深め実践につなげる																																													
第2回	実習の目的・心構え		第10回	課題の整理と目標の設定																																													
第3回	自己課題の発見と目標の設定		第11回	実習前のまとめ																																													
第4回	施設理解・利用者・制度等の理解（試験）		第12回	実習で何を学んだか①（事後指導）																																													
第5回	実習施設・地域の理解		第13回	実習で何を学んだか②（事後指導）																																													
第6回	ノートの書式と記録の方法		第14回	実習で何を学んだか③（事後指導）																																													
第7回	経過記録とエピソード記録①		第15回	実習のまとめ																																													
第8回	経過記録とエピソード記録②																																																
参 考 文 献			特になし。		特記事項	・実習準備のため授業の全てに出席することが求められる。 ・各教科の取得状況、取り組みの状況等によって、実習に臨むことが可能と判断できない場合には、実習に参加できない可能性があり得る。 ・実習が不十分で単位が認定されない場合、実習指導も合わせて認定されない。 ・保育実習Ⅰの単位未修得の場合、履修出来ない。																																											
卒業・免許状・資格との関連			保育士資格選択必修		幼保	保育実習																																											